

社会福祉の構造改革と社会福祉研究

会 長 阿部 志郎

新しい年度を迎え、大学、研究機関、現業それぞれにこの1年の課題達成をめざす活動が始まっていることとお慶び申し上げます。毎歳のこととはいいながら、新しい年度を迎える時期になりますとある種の期待と不安がிரまじった独特の感概を覚えます。

この4月には改正児童福祉法が施行され、介護保険制度も平成12年には実施の運びとなり、社会福祉の構造改革に関する議論もいよいよ大詰めに近づきつつあるように思います。80年代に始まったわが国の社会福祉改革もいまや構造改革という正念場にさしかかったというべきでしょう。

80年代の福祉改革が、戦後改革以来のわが国社会福祉の理念、施策、援助方法を60年代以来の社会経済の変動とそれに連動する福祉ニーズの一般化、多様化、高度化に適合するように調整しようとする試みであったとすれば、こんにちの構造改革は冷戦構造の終焉、長期化する経済不況と財政逼迫、そして21世紀を特徴づける高度少子高齢社会の到来を前提に、戦後社会福祉の根幹に及ぶような改革として位置づけられているように思います。ここ数年にわたって議論されてきた自立生活支援、インフォームドコンセント、サービス選択権、自己決定権、自己責任等々の新しい社会福祉のあり方を象徴する諸概念もそのようなコンテキストのなかでその意義を再考してみる必要があります。

このところわが国の社会福祉研究は、80年代以来の福祉改革に連動して実際的、実践的な課題を中心に深められ、その側面においては相応の蓄積をしてきたといってよいでしょう。しかし、社会福祉の根幹に関わるような、基礎的、理論的な研究についてはどうでしょうか。理論研究が閉塞状態にあると指摘されてからすでに数年が経過しました。本年度は特に、今後、予定されている社会福祉の構造改革論の高まりに見合うような、基礎的、理論的な研究の発展を期待してやみません。



1997年度 第3回理事会報告

1998年3月27日(金)東洋大学の会議室において、1997年度第3回理事会が開催されました。理事会は、阿部会長の挨拶に始まり、古川総務担当理事・事務局長の司会により審議が行われました。特に、全国大会については、さまざまな課題が討議され、意見が交換されました。



第1号議案

第46回全国大会について

開催校の明治学院大学の山崎美貴子大会委員長、松原康雄事務局長より、挨拶、説明があり、検討課題について討議されました。

第2号議案

第47回・48回全国大会について

第47回大会について、小田兼三理事より進捗状況について報告がありました。また会長より、第48回全国大会開催校は日本女子大学より内諾を頂いたと報告がありました。

第3号議案

大会の運営について

第45回全国大会の中垣昌美実行委員長より、大会運営についての検討課題の提言があり、それをうけて、各理事より、活発に意見がだされました。最後に会長より、①大会開催の責任は理事会にあること。②大会開催は、学会より開催校へ委託。③開催にあたっては、開催校の意思を最大限に尊重するが、責任は理事会にあること。

の3点が確認されました。また、研究発表についても、討議されました。

第4号議案

役員選挙について

1998年度は理事及び監事選挙の年になりますので、選挙を行う手順の確認と、選挙管理委員の推薦があり、下記の方が委員に決まりました。

氏名	所属
石川 到覚	(大正大学)
岩崎 晋也	(法政大学)
金子 光一	(淑徳大学)
平戸ルリ子	(東京家政大学)
船水 浩行	(東海大学)

第5号議案

機関誌「社会福祉学」の査読委員(別掲)を決定いたしました。

第6号議案

日本社会事業学校連盟(東京事務所)との共同事務所をもつことが承認されました。

第7号議案

日本学術会議 社会福祉・社会保障研究連絡委員会活動分担金について

田端理事より、社会福祉・社会保障研究連絡委員会活動の説明がありました。1997年度は24万円を助成することになりました。

第8号議案

入会審査について

98名の方の入会が承認されました(別掲)。

報告事項

英文誌刊行委員会、安田火災記念財団について、公開シンポジウムについて、会費未納者について等の報告がありました。

尚、今年度の公開シンポジウムは東京他2カ所の3回予定しています。

日本社会福祉学会1997年度
第3回理事会出席状況

役 職 名	理 事 氏 名	
会 長	阿 部 志 郎	○
会長会長職務代行理事	一番ヶ瀬康子	×
総務担当理事	古川 孝順	○
研究担当理事	田端 光美	○
渉外担当理事	秋山 智久	○
機関誌担当理事	松井 二郎	○
庶務担当理事	高橋 重宏	○
理事(北海道部会担当)	忍 博次	×
理事(京北部会担当)	渡部 剛士	○
理事(関東部会担当)	三友 雅夫	○
理事(中部部会担当)	高島 進	○
理事(関西部会担当)	井岡 勉	○
理事(中四国部会担当)	小田 兼三	○
理事(九州部会担当)	橋本 泰子	×
理 事	京極 高宣	○
理 事	太田 義弘	○
理 事	児島 美都子	○
理 事	岡本 民夫	×
理 事	大友 信勝	○
理 事	中園 康夫	×
第45回大会実行委員長	中垣 昌美	○

オブザーバー出席 山崎美貴子(明治学院大学)
松原 康雄(明治学院大学)
事務局員 春山 陽子

出版企画書について

1. 書籍名

社会福祉の国際比較

2. 趣 旨

社会福祉の国際化の進行とともに、日本の社会福祉の水準や特徴を国際的対比のなかで知る上で、社会福祉の国際比較(比較社会福祉論)の必要性が高まっている。ところが実際には、この領域の関係業績の中には単なる海外の社会福祉事情の紹介であつたり、見聞記にとどまっている場合がしばしば見受けられ、社会福祉の国際比較の水準は必ずしも高くない。そこで本書は、日本社会福祉学会に設置された国際比較の視点と方法とを理論的に追及するとともに、一定の方法論に基づく日本と各国との比較を検証し、21世紀における社会福祉の国際比較研究の進展に寄与しようとするものである。

3. 編 者

阿部 志郎(横須賀社会館館長、
日本社会福祉学会会長)

井岡 勉(同志社大学)

4. 出版元 未定

5. 発行日 1999年3月

6. 読者対象

社会福祉研究者、院生・学生、現場実践者、

「社会福祉学」査読委員名

足利義弘、秋元美世、石川到寛、伊藤淑子、
宇都栄子、尾崎 新、菊池義昭、久保紘章、
黒木保博 小林良二 坂田周一 里見賢治、
冷水 豊 定藤丈弘 杉岡直人 庄司洋子、
副田あけみ、高田真治、中川健太郎、中野敏
子、林 千代、笛木俊一、藤村正之、古瀬
徹、牧里毎治、牧野忠康、松崎泰子、宮崎昭
夫、山縣文治、山田 明 (五十音順)



大会運営について 会員のご理解とご協力をお願い

研究担当理事 田端 光美

日本社会福祉学会は1954年に創設以来、わが国における社会福祉研究の向上に貢献し、今日の成果を得てまいりました。それらはひとえに、会員各位の熱意とご尽力によるものであることは申し上げるまでもございません。現状はとくに会員数が3,200名余となり、その発展を会員とともに喜び、今後はさらに研究の質的水準を向上するよう、理事会でも学会機関誌の編集や大会運営の改革などについて検討してまいりました。

ご承知のように最近には特に大会参加者や自由研究発表数が増加し、大会開催校ではその運営に関し、ひとかたならぬご苦勞をされていることは、学会ニュースにご報告いただいている通りです。そこでこれらについての改善の一つとして、1997年度総会でご承認を得、今年度から発表資格の変更を行い（前年度末までに会員資格を得ていること）、また要旨集の判型をA4判に変更することになりました。これらの変更は、発表者数を制限するためではなく、何よりも十分な準備の上での発表を期待するものであることをご理解下さいますよう、お願い申し上げます。

また、最近の状況として、数多い発表者の中には部会希望とともに、曜日や時間を指定される会員もあり、開催校では限られた部会数と時間の中で、ご希望を適切に組み合わせるのに予想以上のご苦勞をされ、さらに、間際の変更希望その他のご要望にも、できるだけ応じたいと思いつながら、現実には無理なことが少なくないのが実状となっています。

会員各位には是非、その辺の事情をご賢察の上、大会運営にも一層のご協力をくださいますよう、重ねてよろしくお願い申し上げます。

社会福祉学会大会発表要旨集の 判型等変更について

3月27日に開催された理事会で、社会福祉学会大会発表要旨集の判型等の変更が決められました。今年度の明治学院大学での大会から実施されます。ご注意ください。

1. 変更内容

判型 B5判→A4判

2. 実施年度

1998年度大会から実施する。

入会希望者の審査結果

1998年4月1入会日

1998年第3回理事会で、入会審査が行われ、
下記の方々の入会が決定いたしました。

- | | | | |
|---------|--------------------|----------|------------------|
| 1赤松美知子 | 大阪府立東寝屋川高校 | 36小林 理 | 明治学院大学大学院 |
| 2浅井 正行 | ハワイ大学 | 37齊藤 秀子 | 山梨県立女子短期大学 |
| 3石田 祥代 | 筑波大学大学院 | 38才村 純 | 厚生省児童家庭局 |
| 4石原 規章 | 松坂大学大学院 | 39坂本 玲子 | 山梨県立女子短期大学 |
| 5伊藤 桜 | 静岡県立大学短期大学部 | 40佐藤 祐一 | 鳴門教育大学大学院 |
| 6井上 和久 | 兵庫県立北はりま養護学校 | 41佐野ゆかり | 山梨県立女子短期大学 |
| 7井上 良純 | 三重県伊賀児童相談所 | 42佐橋 克彦 | 北星学園大学大学院 |
| 8伊予田治子 | 山梨県立女子短期大学 | 43塩田 祥子 | 龍谷大学大学院 |
| 9岩崎 裕子 | 三育短期大学看護学科 | 44柴田 博 | 東京都老人総合研究所 |
| 10岩田 香織 | 静岡県立大学短期大学部 | 45志水 彰 | 関西福祉科学大学 |
| 11氏家 靖浩 | 緑仙会パルいずみ | 46杉原 俊二 | 瀬戸内短期大学 |
| 12埋橋 玲子 | 姫路学院女子短期大学 | 47鈴木 典夫 | 高野山大学 |
| 13浦崎 文 | (社)やどかりの里 | 48側垣 順子 | 金沢福祉専門学校 |
| 14江頭 環 | 江頭クリニック | 49高野 陽 | 東洋英和女学院大学 |
| 15遠藤 清江 | 東北福祉大学 | 50鷹野 吉章 | 日本社会事業大学大学院 |
| 16尾上麻紀子 | 広島女子大学 | 51武田 文 | 日本大学医学部公衆衛生教室 |
| 17大方 美香 | 大阪城南女子大学 | 52鄭 逸教 | 関西学院大学大学院 |
| 18大濱 裕 | 日本福祉大学 | 53塚口伍喜夫 | 兵庫県社会福祉協議会 |
| 19小川 崇二 | 世田谷区立北沢保健福祉センター | 54梶田 洋 | 京都大学大学院 |
| 20沖倉 智美 | 町田福祉専門学校 | 55鶴沢正三郎 | 東北福祉大学 |
| 21小栗 和美 | 河内病院 | 56鶴田 光子 | 北海道医療大学 |
| 22小田 美季 | 聖隷クリストファー看護大学 | 57寺田ひろ子 | 町田福祉専門学校 |
| 23片岡 香織 | 松山総合福祉専門学校 | 58富永 静枝 | 白梅学園短期大学 |
| 24金子 充 | 明治学院大学大学院 | 59中島 学 | 法務省大臣官房秘書課組織係 |
| 25川名はつ子 | 帝京平成短期大学福祉学科 | 60中町美佐子 | 東京家政学院大学 |
| 26河野貴代美 | 帝京平成大学 | 61長瀬 修 | 障害・コミュニケーション研究所 |
| 27川野 哲朗 | 宮崎医療福祉専門学校 | 62長屋美穂子 | 文教大学人間科学部 |
| 28木下 裕美 | 兵庫医科大学病院 | 63仁田久次奈美 | 医療法人真正会 |
| 29木下 了丞 | 飯塚病院 | 64根岸 洋人 | 東洋大学児童相談室 |
| 30君島 菜菜 | 大正大学大学院 | 65橋本 勇人 | 旭川荘厚生専門学校 |
| 31木村 常雄 | 横浜市総合リハビリテーションセンター | 66馬場 重夫 | 愛知県立大府養護学校 |
| 32木村 俊彦 | 姫路日ノ本短期大学 | 67平岡 一雅 | いわき短期大学幼児教育学科 |
| 33久保 圭子 | 大阪府立看護大学医療技術短期大学部 | 68広利 吉治 | 宮城学院女子短期大学 |
| 34小池 将文 | 川崎医療福祉大学 | 69深澤 茂 | 大正大学大学院 |
| 35河野 真 | 兵庫女子短期大学 | 70福田 朋範 | 広島大学 |
| | | 71藤井 美和 | ワシントン大学大学院 |
| | | 72富士谷あつ子 | 武庫川女子大学 |
| | | 73舟木 紳助 | The Univ. Sydney |
| | | 74堀 正 | 群馬大学 |
| | | 75真壁 美保 | 大阪城南女子短期大学 |
| | | 76増島 智子 | 佛教大学 |
| | | 77松原日出子 | 日本女子大学大学院 |
| | | 78松本 耕治 | 山口県立大学 |



79三田寺裕治 淑徳大学大学院
80宮澤 京子 盛岡医療福祉専門学校
81宮田 晴美 瀬戸内短期大学
82宮本 優子 淑徳大学大学院
83村上千恵子 富山大学
84村山 祐一 保育研究所
85森 成樹 日本子ども家庭総合研究所
86森 望 厚生省児童家庭局家庭福祉課
87守田 尚史 金沢福祉専門学校
88森永 伊紀 世田谷区立北沢保健福祉センター

89森本 正昭 日本福祉大学
90安田 陸男
91山西 裕美 光華女子大学
92山森 亮 京都大学大学院
93Jung WonLee ワシントン大学大学院
94横山 豊治 東洋大学大学院
95横山 英史 東北福祉大学大学院
96吉井 珠代 大阪城南女子短期大学
97吉川 智美 親愛の里松川
98四本 紀子 関西社会福祉専門学校

第30回日本社会福祉学会 中四国部会大会

講演会、研究発表および交流会

日 時：平成10年6月20日（土）

10時00分受付 10時30分講演開始 13時30分研究発表（分科会） 16時開会

会 費：参加会費 一般1,000円、資料代500円

講 演：公的介護保険の動向

講 師：廿日市高齢者ケアセンター 蛭江 紀雄

場 所：〒723-0014 広島県三原市城町608番地

三原市総合福祉健康センター・サン・シープラザ4階（三原駅前）

TEL0848-67-6234 FAX0848-67-5934

連絡送付先：〒723-0053 広島県三原市学園町1-1

広島県立保健福祉短期大学 日本社会福祉学会中国四国部会

住居 広士 TEL&FAX0848-60-1211;sumii@hpc.ac.jp

日本社会福祉実践理論学会 第15回大会プログラム

大会テーマ：「ソーシャルワークの固有性」

大会会長：高橋 重宏

大会会期：平成10年5月30日（土）・31日（日）
・6月1日（月）

大会会場：シャトーテル赤根崎

〒413-01 静岡県熱海市上多賀字赤根

TEL0557-67-1111 FAX0557-67-2265

【大会事務局】

駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻

第一研究館409高橋重宏研究室

TEL&FAX：03-3418-9327

【内 容】

5月30日（土）13：00～18：00

ワークショップI「ソーシャルワーク実践におけるパソコンの活用法」

会場：東海大学伊勢原校舎3号館3-201教室

5月30日（土）14：00～18：00

ワークショップII「事例研究法」

会場：シャトーテル赤根崎

【基調講演】

多々良紀夫（淑徳大学・前国際社会福祉協議会アメリカ合衆国国内委員会会長）

【シンポジウムI】

テーマ：ソーシャルワークの固有性を問う

【自由報告】

【シンポジウムII】

テーマ：子ども虐待・障害者虐待・高齢者虐待とソーシャルワーク実践



日本社会福祉学会第46回全国大会 開催のご案内

【テーマ】わが国におけるソーシャルワーク研究の到達状況

【期間】1998年10月17日(土)～18日(日)

【会場】明治学院大学・白金校舎

1. 大会日程

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
10月27日(土)		受付	自由研究発表	自由研究発表	休憩・昼食	学・会・総・会		シンポジウム 記念講演				懇親会	
10月28日(日)		受付	自由研究発表 ポスター発表 (11:00～12:00)		休憩・昼食	自由研究発表							

〈9:00～14:30〉 関連学会・研究会紹介コーナー

◎大会シンポジウム

テーマ(1) 社会福祉システムの再構築とソーシャルワーク理論のパラダイム

テーマ(2) わが国におけるソーシャルワークとケアワークの研究状況

2. 大会参加申込について

指定の参加申込書に、必要事項をご記入の上、大会事務局へご返送下さい。

3. 大会参加費等の払い込み、研究報告概要集の購入について

(1) 大会参加費について(研究報告概要集を含む)

◎会員・非会員とも

6月30日(火)までに振込申込をした場合 6,000円

当日参加の場合 8,000円

◎非会員の院生・学部学生 3,000円

(2) 懇親会(第1日目の夜)の参加費は、お一人7,000円です。

準備の都合上、一定数に限らせて頂きますので、ご予約下さい。

なお、当日の参加希望は、希望者多数の場合、申込順とさせていただきますので、お含みおき下さい。

(3) 昼食の弁当1,000円もご予約下さい。大学付近には食堂等はほとんどありません。

(4) 大会参加費(研究報告概要集1部代金を含む)、懇談会参加費等は郵便振替払込通知票で、6月30日(火)までにお払い込み下さい。(領収書は郵便振替払込通知票をもって代えさせていただきます。)

なお、大会参加費は学会年会費とは用途を異にするものですから、お間違いのないようにご注意下さい。(学会年会費は学会事務局の方へご送金下さい。)

(5) 研究報告概要集のみをご希望の方は、1部につき3,000円を郵便振替払込通知票で6月30日(火)までに予約申込(振込)して下さい。

郵便振替口座

口座番号 00120-5-30614

名 称 日本社会福祉学会第46回全国大会事務局



4.連絡・問い合わせ

日本社会福祉学会代6回全国大会事務局

所在地：〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

明治学院大学社会学部社会福祉学科内

FAX 03-5421-2260

◎連絡・お問い合わせに関して、大会事務局での常時対応は諸事情により不可能ですので、ファクシミリにてお願い致します。また、電子メールを利用してのご連絡も可能です。

matubara@soc.meijigakuin.ac.jp (松原)

学会ニュース・第17号 編集後記

●第46回日本社会福祉学会大会は明治学院大学白金校舎（東京都港区白金台）で10月17日（土）・18日（日）に開催されます。大会テーマは「わが国におけるソーシャルワーク研究の到達状況」です。期限等の事務手続きを守り、事務運営に協力しましょう。準備をされている関係者のご苦勞に答えるためにも、実り多い大会にしたいものです。ぜひ、ご協力ください。

●すでに、ご承知のとおり、学会での個人発表、グループ発表にかかわらず会員番号のない方（会員でない方）の名前の掲載はできません。ご注意ください。

●3月27日に開催された日本社会福祉学会の理事会で、ニュースに掲載のごとく98人の新入会員が認められました。現在の会員総数は3,181人（1998年5月20日現在）です。

●日本社会事業学校連盟（八田英二会長）東京事務所と合同で事務所を設置することになり、学会事務局が5月15日から移転しましたのでよろしくお願い致します。

（庶務担当理事 高橋重宏）

事務局連絡

●事務所移転のお知らせ

日本社会福祉学会、日本地域福祉学会合同事務所は下記に移転しました。

〒160-0008

東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館501
尚、電話番号、FAX番号は変わりません。よろしくお願いたします（事務局・春山）

名簿作成のための住所などの確認について
住所・勤務先確認ハガキを同封しております。変更のある方は、6月10日（水）までに学会事務局まで、お送り下さい（お手数ですが切手をお貼りください）。名簿を作成するためですので、よろしくお願い致します。又、名簿では、所属地方部会別になります。ご自宅と勤務先が異なっている方の場合、特にお申し出がなければ「勤務先」が所属部会になります。ご希望の方は、ハガキの余白にその旨、お書き下さい。又、今回訂正のない会員の方も変更が生じた場合はこのハガキをご利用下さい。なお、このハガキは5月15日付けで作成しております。

※

発行人 阿部 志郎
編集人 古川 孝順
発行日 1998年5月30日
発行 日本社会福祉学会

学会ニュース17号

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館501

TEL.03-3356-7824 FAX.03-3358-2204

※

※